



夏は「熱中症」に要注意！

熱中症患者は年々増加傾向にあります。

30～59 歳では労働中、65 歳以上の方は日常生活内での発生が多いと考えられています。

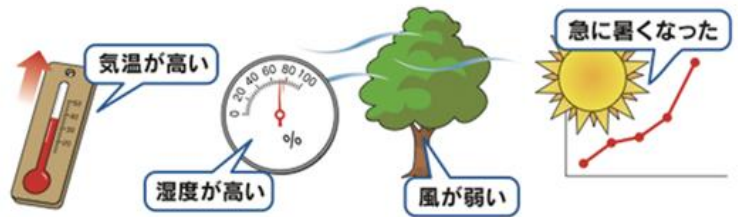
高齢者はもちろん、我々労働者も熱中症因子を理解し、十分な呼びかけ・注意が必要になります。

高齢者は、暑さを感じにくい上に体温調節機能の大切な役割を果たしている発汗と血液循環が低下し、暑さに対する抵抗力も少なくなっています。また、のどの渇きを強く感じないため、水分不足になりがちで、気づかないうちに熱中症を起こしてしまう場合もあります。高齢者の方々にはひと工夫した促しが必要になる事もあります。

・気温が高い
・湿度が高い
・風が弱い

・日差しが強い
・閉め切った屋内
・エアコンの無い部屋

・急に暑くなった日
・熱波の襲来



(熱中症になりやすい環境因子)

くるみでの脱水予防指導

1. 脱水チェック票の提示

チェック表で確認する事で、自身の脱水リスクが把握しやすく、危機意識が高まりやすくなります。

2. 水分摂取量の目標設定

1 日ペットボトル 1～2 本と設定し、自身でも大まかな摂取量が把握しやすい状況となります。

3. エアコン、扇風機の使用や服装指導

エアコンと扇風機の併用により、部屋全体に冷気を送る事が可能となります。また、服装は袖口が緩いものを着用することで、体温のこもりを防ぎ易くなります。



内子支店でのリハビリ

少し前にはなりますが、内子町ではいかざき大風合戦がありました。

くるみ(内子支店)では、利用者様に作成して頂いた凧を上げてきました。想像以上に大きくてびっくりです。上げ方まで教えてもらい、くるみ職員で実践してみましたが、なかなか難しいものですね。

利用者様と初めて顔を合わせる職員が殆どでしたが、くるみ一丸となって関わる事が出来たように思います。こういった町内行事に参加する事は、周囲との関わりを広げることが出来るとも素晴らしい機会となりました。

リハビリ職としても転倒の予防や運動機能の向上を目指した上で、社会行事を通して利用者様と関わる事が出来たことを大変うれしく思います。



訪問看護ステーションの特色を生かしたサービスへ

今年4月からの法改定により、訪問看護ステーションのリハビリのみの利用者に関しても、概ね3か月に1度、定期的な看護職員による訪問が必要になりました。支援の変更に伴い、利用者への説明やプラン変更など、各事業所のケアマネジャー様にも、御迷惑をおかけしました。御協力、深く感謝致します。

ケアマネジャー様からは、看護師が現場でどのようなサービス提供をしているのか？看護師とリハビリスタッフが連携する事でどのような効果が得られているのか？など様々なご意見を頂いていたので、支援を開始して3ヶ月あまりではありますが、現場の声を紹介したいと思います。

症例紹介

- ・90歳 男性
- ・主病名 腰部脊柱管狭窄症
- ・長男家族と同居(主介護者は、長男嫁)

《看護支援が入るまでの状況》

内服管理を本人が行なっていたが、誤って眠剤を2回飲んでしまった事があるとの事で、リハビリスタッフやご家族から服薬カレンダーの使用などの提案をされていた。しかし、利用者本人が「自分自身で何でもしたい。」という性格で、内服の管理に関しても受け入れがなく、ご家族も困っている様子だった。

看護師訪問によるカレンダーでの服薬管理



看護初回支援(今後、3か月に1回の定期訪問予定。)

看護師からの勧めに理解を示され、看護支援後に服薬カレンダーを使用されるようになる。現在も使用継続できており、その後、誤薬なく経過。本人も「もっと早く使えば良かった。」と受け入れも良い。

《利用者・家族の反応、変化》

本人・家族からは元々、看護師の介入には好意的で受け入れもスムーズ。家族からは、利用者が高齢であるため、将来的な不安があり、「状態が変化等、状況に応じて頻度を増やして欲しい。」との希望があった。

《リハビリスタッフより》

看護師が入り、アセスメント(観察、評価)をした際には、内服管理や健康不安などの訴えを、利用者や家族より詳しく話される場面が多くありました。リハビリスタッフも普段の支援時に、フィジカルアセスメント(状態観察をしながら、状況に応じた対応を的確に行う。)を意識した対応を行っていますが、看護師が専門的な知識を伝えながら、分かりやすく説明する事で、利用者や家族がより安心して話をしていたように感じます。リハビリスタッフも看護師からの情報を基に、利用者の状態評価を再度行う事で、病状変化時の対応やリスク管理が安心して行えるようになりました。まだ、支援を開始したばかりではありますが、今後も現場での声を基に、より利用しやすいサービスになるよう、支援の充実を図っていきたいと考えています。今後とも御協力よろしくお願い致します。